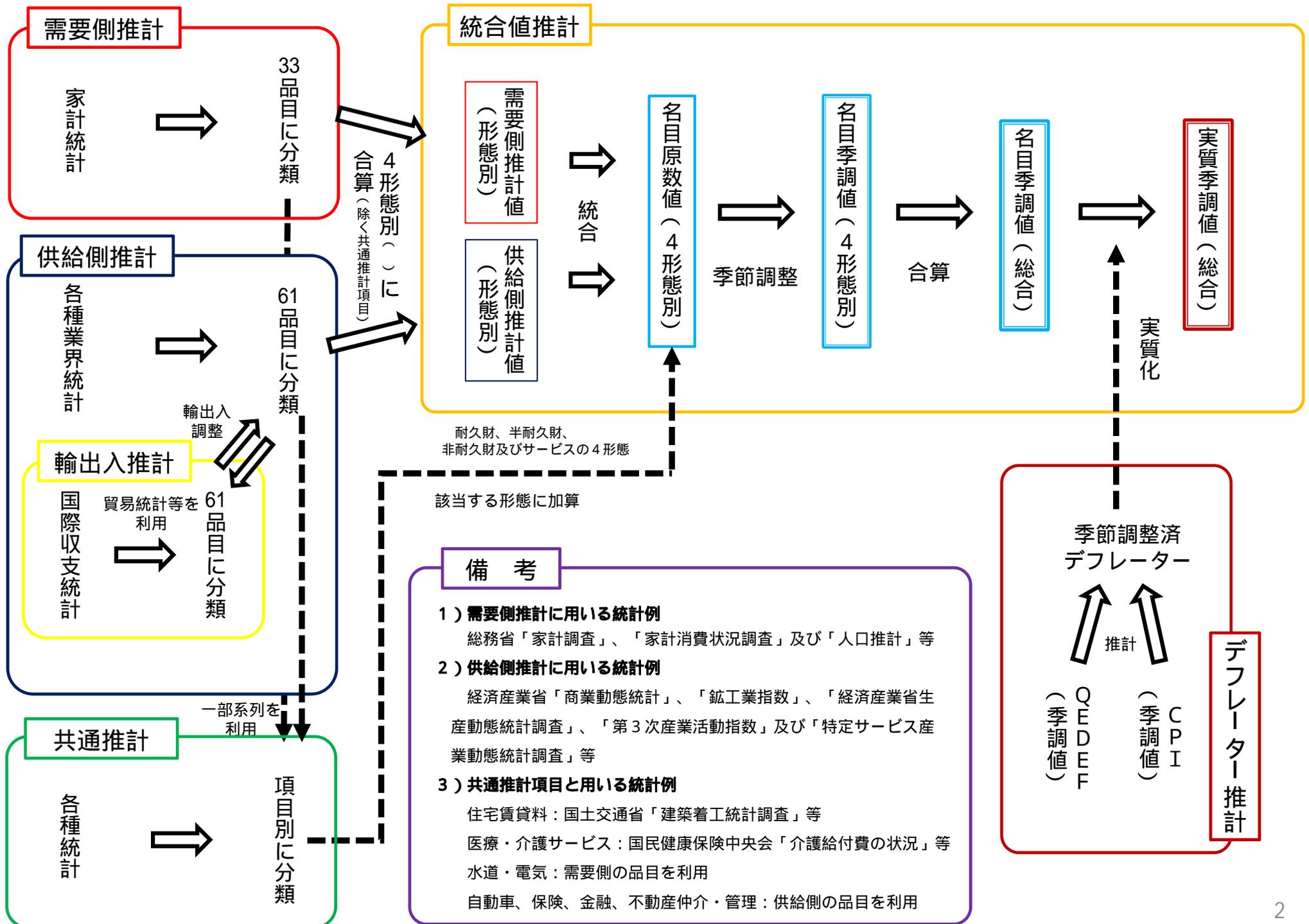


消費総合指数の推計方法について

平成28年7月12日

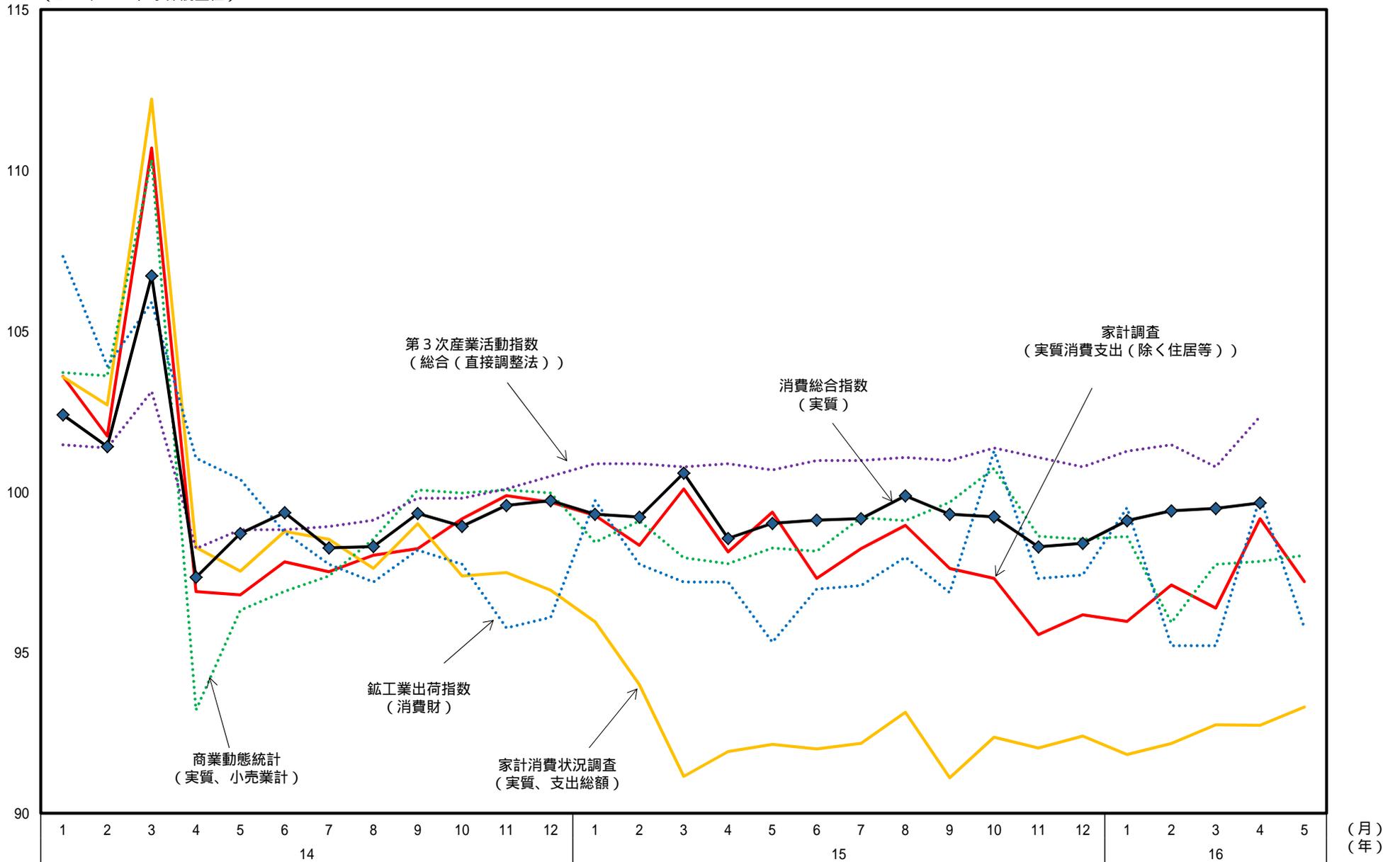
内閣府政策統括官（経済財政分析担当）付

消費総合指数の推計体系（概要）



個人消費関連統計の動向

(2014年 = 100、季節調整値)



- (備考) 1. 総務省「家計調査(二人以上の世帯)」、**「家計消費状況調査」**、経済産業省「商業動態統計」、「**鉱工業指数**」、「**第3次産業活動指数**」により作成。消費総合指数は内閣府による推計値。
 2. 家計消費状況調査(支出総額)は内閣府による季節調整値。また、家計消費状況調査(支出総額)及び商業動態統計(小売業計)の実質値は、それぞれを季節調整済みのCPI(持ち家の帰属家賃除く総合)及びCPI(財)で除することにより作成。
- (参考) 1. 消費総合指数の需要側推計値の推計に当たっては、家計調査及び家計消費状況調査の概ね全ての品目情報を用いて推計を行っている(贈与金等の移転支出の情報等はない。)。
 2. 供給側推計値については、各種の販売・供給側統計を用いて推計を行っているが、記載の統計では、商業動態統計は「商業計」及び「織物・衣服・身の回り品小売業」等の項目を、**鉱工業出荷指数**は「家具工業」、「楽器、文具、玩具」及び「清涼飲料、酒類」等の品目を、**第3次産業活動指数**は「運輸」及び「保険」等の品目をを用いて推計を行っている。